

法第2条第6項による  
金額算出明細書  
(同条第4項本文計算)

所属		認定番号		氏名	
給与期間	月分	月分	月分		
暦日数(B)	日	日	日		
控除日数(C)	日	日	日		
減額前の給料	円	円	円		
減額前の扶養手当	円	円	円		
減額前の調整手当	円	円	円		
減額前の住居手当	円	円	円		
減額前の通勤手当	円	円	円		
減額前の	円	円	円		
減額前の	円	円	円		
計(A)	円	円	円		
減額された給与の額(D)	円	円	円		

※(D)の額は、減額前の給料・手当から実際に支給された給料・手当を引いた額の合計である。

〔控除すべき給与〕 控除事由が複数月の場合、〔控除すべき給与〕は各月ごとに計算すること。

減額前の給与(A)    暦日数(B)    控除日数(C)    減額された給与の額(D)

① (      円 ÷      日 ) ×      日 -      円 =      円      銭

② (      円 ÷      日 ) ×      日 -      円 =      円      銭

③ (      円 ÷      日 ) ×      日 -      円 =      円      銭

① + ② + ③ =      円      銭 (E)

※(E)の額がマイナスの場合は下の〔控除計算〕の際の「控除すべき給与」は0円とする。

〔控除計算〕

3月間の給与総額    控除すべき給与(E)    暦日数    控除日数

(      円 -      円      銭 ) ÷ (      日 -      日 ) =      円      銭

控除理由	月	月	月
------	---	---	---

# 法第2条第6項による 金額算出明細書 (同条第4項ただし書計算)

所属		認定番号		氏名	
給与期間		月分	月分	月分	
暦日数 (C)		日	日	日	
実勤務日数 (A)		日	日	日	
控除日数 (D)		日	日	日	
減額前の給料		円	円	円	
減額前の扶養手当		円	円	円	
減額前の調整手当		円	円	円	
減額前の住居手当		円	円	円	
減額前の通勤手当		円	円	円	
減額前の		円	円	円	
減額前の		円	円	円	
計 (B)		円	円	円	
減額された給与の額 (E)		円	円	円	
<p>※(E)の額は、減額前の給料・手当から実際に支給された給料・手当を引いた額の合計である。</p> <p>日、時間または出来高払制によって定められた給与の総額 (控除日に支払われたものを除く) <span style="float: right;">実勤務日数(A)</span></p> <p style="text-align: center;">円 ÷ 日 × 60 / 100 = 円 銭 (F)</p> <p>控除事由が複数月の場合、次の(G)を計算する際は、各月ごとに計算すること。</p> <p>減額前の給与(B) 暦日数(C) 控除日数(D) 減額された給与の額(E)</p> <p>① ( 円 ÷ 日 ) × 日 = 円 銭</p> <p>② ( 円 ÷ 日 ) × 日 = 円 銭</p> <p>③ ( 円 ÷ 日 ) × 日 = 円 銭</p> <p style="text-align: center;">① + ② + ③ = 円 銭 (G)</p> <p>その他の給与の総額 (G)の額 暦日数(C) 控除日数(D)</p> <p>( 円 - 円 銭 ) ÷ ( 日 - 日 ) = 円 銭 (H)</p> <p>∴ 円 銭 (F) + 円 銭 (H) = 円 銭</p>					
控除理由	月	月	月		